

## <社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例>

### ■事例演習の達成目標

- ①個別ケースへの対応のみならず、地域関係者との連携を通して介護支援専門員が地域への視点を持ち、地域関係者と協働し地域づくりに参加していけるよう指導ができる。
- ②利用者本人のもっているストレングスと地域がもつサポート力の相互作用を意識して、ネットワークの構築がおこなえるよう指導ができる。
- ③地域ケア会議を活用し、個別課題から地域課題を抽出し、地域づくりや社会資源の改善、開発に向けて、政策提言を行うことができる。

### ■事例を選定する際の視点

#### ■様々な社会資源を活用、連携した指導事例

※介護支援専門員が様々な社会資源を活用し、インフォーマルサポートと連携がとれるよう指導・助言したことが説明できる指導事例

- ①公的制度（生活保護、障害福祉など）を活用している指導事例
- ②互助（民生委員の訪問、配食サービスを利用した安否確認、地域サロンや老人会など）をケアプランに位置付けている指導事例
- ③地域や行政へ働きかけをした指導事例（地域包括支援センターとの連携、地域ケア会議の開催、市役所、警察署など公的機関との連携）

### ■提出する事例を上記の指定された類型とする理由

[介護保険担当部署、高齢者社担当部署、地域包括支援センター、生活保護担当部署、障がい者福祉担当部署、保健所、社会福祉協議会(日常生活自立支援事業、生活福祉資金、地域福祉推進、地域ボランティア等)等]との連携に関する事例

記入例：虐待事例において、どのように対応したらよいか困っていた事例を、地域包括支援センターを活用するように指導した等